

ヤマハグループが温室効果ガス排出量削減目標において、 「SBT イニシアチブ」の「1.5℃目標」で認定を取得

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、中長期的な温室効果ガス排出量削減目標において、国際的な環境団体である SBT イニシアチブ^{注1}から、「1.5℃目標^{注2}」での認定を取得しましたのでお知らせします。

■ヤマハグループの温室効果ガス排出量削減目標^{注3} [2017年度比]

- Scope1 + Scope2 : 2030年度までに55%削減（2050年度 実質カーボンニュートラル）
- Scope3 : 2030年度までに30%削減

当社グループの中長期的な温室効果ガス排出量削減目標は、2019年6月に国際的な環境団体である SBT イニシアチブから「2.0℃目標^{注2}」で認定を受けましたが、このたび、カーボンニュートラル実現に向けた国際社会の動向を踏まえ、Scope1+Scope2の削減目標を前回の32%削減から55%削減へと大幅に引き上げる、より意欲的な「1.5℃目標」で申請し、認定を取得しました。

今後、この削減目標を達成すべく、本年1月に発足した、社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」の下部部会である「気候変動部会」にて、気候変動に関する全社的な議論を進めながら、再生可能エネルギーの積極導入、エネルギー高効率設備導入、省電力製品開発、物流合理化等の取り組みを加速させてまいります。

注1: SBTはScience Based Targetsの略。パリ協定目標達成に向け、科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出量削減目標設定を促し、その目標の評価や承認を行うイニシアチブ。環境情報の開示に関する国際NGOであるCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の4団体が共同で2015年に設立。

注2: 産業革命以降の気温上昇を1.5(2.0)℃以内に抑えるための科学的根拠に基づく削減目標

注3: Scope1: 燃料使用等による自社施設からの直接排出

Scope2: 自社が購入したエネルギー（電気、蒸気等）の使用による間接排出

Scope3: Scope1、2以外の自社バリューチェーンからの間接排出（原材料・部品調達、輸送、製品の使用等）



■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL. 053-460-2210